

平成 21 年度事業報告

特定非営利活動法人

高度情報通信推進協議会

当協議会は、ユーザ側の視点に立った高度情報通信技術・施工技術に関する人材育成及び情報提供を行うことを目的として事業を展開してきた。厚生労働大臣指定試験機関として情報配線施工技術に関する職業能力評価制度のひとつである技能検定試験事業の推進を積極的に行うとともに、ユーザの立場に立ったワンストップ施工技術の普及を目指した並びに情報ネットワーク施工プロフェッショナル認定（INIP）を通じた人材育成事業も強力に進めた。

I 人材育成・認定事業

(1) 技能検定事業

厚生労働大臣指定試験機関として、情報配線施工技能検定試験の公正かつ積極的な運営を行いました。平成 21 年度試験は、厚生労働省の承認を得た計画に則って、1、2 級は二回の試験を実施し、3 級試験は受検者拡大のため年間 3 回開催した。

受検者増対策では、3 級は工業高校、専門学校などの教育機関への広報活動を更に強化し情報配線施工の技能検定資格の定着化を目指し活動を行った。

(2) INIP 認定事業

既認定者に対しては、上級認定資格の取得促進のための広報活動を賛助団体のご協力を得て会員各社への働きかけを行った。また、認定更新のための継続的学習プログラムの実施を計画的に実施した。認定者向け情報誌(INIP ニュース)の第 2 号、第 3 号を発行した。

II 普及・啓蒙事業

普及・啓蒙事業の一環として、より高度な施工技術に関する技能五輪等関連事業への支援活動を推進した。

(1) 第 6 回情報通信配線技術フォーラム 2010

平成 22 年 1 月 20 日から 22 日東京ビッグサイトで第 10 回光通信技術展(FOE2010)と共催で開催した。本フォーラムは第 47 回技能五輪全国大会の予選会を兼ねた。

(2) 第 47 回技能五輪全国大会(茨城県日立市)への活動支援

第 47 回技能五輪全国大会用競技用機材・部材の調達・提供や 20 名の出場選手推薦など技能五輪支援活動に引続き積極的に協力した。